

Dai·Com Press

東京農業大学第二高等学校 同窓会新聞 [ダイコンプレス] コロナ特別号

Vol.
29
2021

東京農業大学第二高等学校

祝 陸上競技部 全国駅伝大会出場

祝 全国大会出場 吹奏楽部

祝 世界新記録 13試合連続優勝
ソフトバンクホークス [50期生]

16年ぶり更新 周東佑京 [選手]

祝 日本高校新記録樹立 嘉上男子5000m

16年ぶり更新 石田洸介 [選手]

祝 第104回 日本陸上競技選手権大会出場 男子5000m
柳田大輝 [選手]

2020 全国高等学校陸上競技大会 S3000m C 優勝 分須尊紀

速報

20期生の江口文陽さんが
東京農業大学の次期学長に決定！
東京大学 2名現役合格！
(文三、理一：令和3年度)

東京農業大学第二高等学校
同窓会長**清水 洋** (5期)

東京農業大学第二高等学校長

大西 修

同窓生の皆様、日頃より同窓会諸活動にご理解とご協力を賜り誠に有り難うございます。同窓会広報誌の『ダイコンプレス』もお陰様で第29号が発刊できること、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の世界規模の蔓延に拡げる影響で、感染防止対策のため不要不急の外出を控える日常となりました。当然ながら同窓会活動もほとんどの年間予定行事を自粛せざるを得ない状況となってしまいました。

母校においても4月以降生徒の登校を停止し、ほぼ3ヶ月間に渡りオンラインリモート授業という状況となり、教育活動に大きな支障をきたすこととなってしまったようです。

6月以降登校再開となり、段階を踏んで正常な学校生活に戻ってきていますが、いまだ感染症の終息の気配は見えず、生徒・先生方の苦労は計り知れないものがあると推察されます。そして同窓生の皆様におかれましても多くの方々が、このコロナ禍の真っただ中にあり、これまでにない大変なご苦労をしていること想像するにつけて胸が痛みます。何とかこの期間を耐え忍び1日でも早く元の平穏な日常が戻り、同窓会活動に参加出来る日が来る事を心から願っているところであります。

同窓会本部関係の活動も今年度は大きく制限されましたが、定期の正副会長会議・委員長会議・事務局会議等は必要な感染症予防対策を充分講じた上で開催しています。定期総会は書面で行いました。また、母校へ支援として部活動補助(百万円)・コロナ対策補助(百万円)・育英奨学金(通学が大変な生徒へ無償)・全国大会出場補助などを行いました。

今回の広報誌は、コロナ禍の中で同窓会活動が制限されたので、今までと違い特別企画として創立60年を迎える母校の発展やコロナ対策・在校生の活躍等のページを増やしました。

令和3年度の同窓会活動はコロナの影響で自粛していた活動を復活出来るようにすると共に、母校に少しでも応援出来ることを考えていきたいと思います。

終わりに、母校の益々の発展と同窓生全ての皆様の明るい未来を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

農大二高の先進教育

農大二高の同窓会の皆様、今年度も本校の生徒に数々のご支援をいただき、ありがとうございます。本校同窓の皆様が社会でご活躍されていることが、本校生徒の目標であり、大きな自信となっています。

今年度は、新型コロナ感染症対策で休校するところから始まりました。その中でも、男子寮「鶴陵舎」が完成し、3月から新2・3年生が入寮し、4月には1年生も入寮・入学しました。車で移動できる者は一時帰宅しましたが、感染防止を徹底して生徒自らが安全な寮生活を実践しました。

さらに新規の取り組みとして、1年生全員がiPadを授業で使い始めました。校内全域でWi-Fiが使用可能となり、新しい形の授業を実践しています。新しいグローバルコースは、厳しい状況となりました。留学のためのビザが取得できず、Australia Brisbaneに行く予定の生徒は1月からon lineによる現地の先生の授業を農大二高の教室で受けています。その教室の中は、Australiaです。また、「On line English」「華語講座」「プログラミング」等、先進性の高いプログラムは内容を充実させながら、実施しています。8月末には、23名の卒業生が台湾の大学に進学を果たしました。ビザを取得できたぎりぎりのタイミングでした。

部活動においても、インターハイや甲子園、競技カルタに吹奏楽など、多くの種目で大会が中止となり、特に3年生は悔しい思いをしました。陸上は種目の特性もあり、代替えの大会も実施され、夏には北海道のホクレンディスタンスチャレンジ千歳大会で3年石田が5000m高校日本新記録、全国高等学校陸上競技大会で3年分須が3000mSC優勝、2年柳田はセイコーゴールデンランプリに出場して高校生枠を使わずに自力で決勝進出、Japanの選手たちの一角に入る大活躍でした。吹奏楽部も高崎芸術劇場で観客50%ながら4回の公演を行い、全国大会への思いをしっかりと表現することができました。

これからも農大二高の文と武が充実し、眞の文武両道となって未来に向かって主体的に取り組める人材を育成し、高崎のブランドとして輝けるよう取り組んで行きます。母校のためになお一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

同窓会費は、同封の振込用紙または銀行振込で納入して下さい。

東京農業大学 次期学長決定 おめでとうございます

**江口 文陽 教授 (20期生)**

[東京農業大学研究者紹介プロフィールより抜粋]

1965年群馬県生まれ、東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了、博士(林学)、2012年東京農業大学教授、同大学院指導教授。2016年「食と農」の博物館長。2019年学校法人東京農業大学評議員。2020年地域環境科学部森林総合科学科長。

江口文陽教授は、27歳で東京農業大学からきのこ育種(新品種開発)技術で博士の学位を授与される。大学の教員になりたい希望が強く公設試験場や民間企業の内定先には就職せず、日本学術振興会特別研究員などを経て33歳までは小学校・中学校・高等学校・進学予備校・専門学校・短大・大学・大学院の非常勤講師で生活、特に30歳からの3年間は9時~21時半まで非常勤講師(1コマ90分や50分などの講義を週30コマ担当)、22時から夜中2時まで実験、3時から6時までの3時間睡眠…生活の先が見えないつらい時間を過ごした。

33歳までの流しの研究者の時代(32歳の時フリーターのような状態で結婚)、33歳で高崎健康福祉大学に採用され助教授、36歳で教授になるなどの激動の人生を送った。研究・教育活動、国内外の各大学の実態を見て現在に至っている。大学人とはいかなるものかといった強い信念“哲学”を持っている。

そのような経験を持つ、江口文陽教授が東京農業大学を牽引することを期待しています。

20期同級生よりお祝いの言葉

中村 智子 (20期生) 森・濱田松本法律事務所

この度は、東京農業大学次期学長決定、心よりお慶び申し上げます。

最近のご活躍、マスコミへのご出演、今までのご研究、学生の方への熱心な指導など、日々積み重ねてこられたご成果が実を結ばれたこと、農大二高の同期としてとても誇りに思います。

在学当時とても真面目に勉学に励まれておられた記憶がございますが、農大二高を卒業されて後研鑽を重ねられ、同窓会などでお会いする度に人間的にもとても魅力あるお人柄となっておられたので、この度の次期学長決定のお話を伺った時はとても納得がいきました。今後の益々のご活躍をお祈りしております。



学び舎の環境整備

学生寮「鶴陵舎」を新設

2020年4月に東京農業大学第二高等学校の学生寮、名称を鶴陵舎（かくりょうしゃ）として48名（定員男子60名）でスタートしました。学校から自転車で7分のところにあり、全室冷暖房、Wi-Fi環境が完備されています。また、管理栄養士のもとアスリートに必要な栄養を摂れる食事により体調管理は万全です。研修室ではミーティングや日々の勉強をすることができます。

今年度は新型コロナウイルス禍では中々自由に行動することができず、感染対策を入念に行いながらの生活が続きましたが、生徒達の主体的な行動が芽生え始め、後に、全国3000m障害優勝者や5000m高校日本記録樹立者、セイコーランプリ100m決勝・日本選手権決勝進出者を出すことができました。4月からは遠方からたくさんの生徒が入寮を予定しています。これからも感染対策に十分注意をしながら運営して参りたいと思います。

校舎のバリアフリー

将来の夢に向かって



2年 渡辺 航平

東京農業大学第二高等学校二年の渡辺航平です。

私は二分脊椎という先天性の病気で生まれ、足が不自由なため普段から車いすを使って生活をしています。小・中学校を共にエレベーターのある一般の学校で過ごし、農大二高に入学しました。

農大二高を選んだ理由は、まず校舎にエレベーターが設置されていることです。中学時代に自宅に近い高校を調べましたが、エレベーターが設置されている高校はほとんどありませんでした。常に車いすを使う私にとって、エレベーターは必要不可欠なものです。また0限カリキュラムなど、学習に集中できる環境があつたことも大きな理由の一つです。

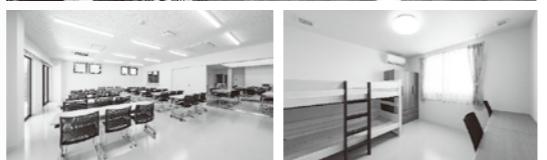
そしてオープンキャンパスに行った際、車いすの私に対して、先生方が親切に丁寧に対応してくださいました。この高校でなら、自分らしく生活できると思い、農大二高の入学を希望しました。農大二高は私にとって、勉強に励むだけではなく、より良い人間関係を作っていく場所です。学校生活において先生を始め、友人など多くの方々に助けていただいています。車いすで生活していると不便なこともたくさんあるので力を貸していただけると嬉しいです。

学校内は基本的に一人で不自由なく行動できますが、保健室や柔道場に向かう際、棟の一階の入口にある大きな段差を一人では上がることができず、困っていました。そのことを先生方が心配してください、スロープと昇降機を付けてくださいました。環境も整い、お陰様で楽しく充実した学校生活を送ることができます。

私は現在、チアスキーをしています。チアスキーは一本のスキー板で座って滑るスキーです。冬季パラリンピックの競技として採用されています。時速百キロ以上のスピードが出るとも言わゆる、普通では味わうことができないスピードと風を切る感覚を楽しむことができるのが魅力です。先シーズンから育成選手に選ばれ、パラリンピックに出場している方々と一緒にトレーニングをしています。これからも勉強とスキー競技を両立しながら頑張っていきたいです。

将来は車いす生活の経験を活かし、バリアフリーをより進める仕事に就きたいと考えています。街や公共施設のバリアフリーだけでなく、人の心のバリアフリーについても考え、すべての人が暮らしやすい社会にしていきたいと思っています。そのため大学へ進学し、様々な勉強をしたいと考えています。

最後に車いすの私を受け入れてくださった農大二高に本当に感謝しています。卒業して大人になった時に、この高校で三年間を過ごすことができ本当によかったと思えるよう、これからも充実した生活を送りたいと思います。残り一年、精一杯頑張ります。



農大二高における新型コロナ感染症対策

新型コロナ感染防止のため、授業や部活動、学校行事など学校で行われるほとんどの教育活動が自粛、あるいは制限されました。生徒たちの自由な活動が制限され、貴重な体験学習の機会が奪われることは、生徒自身はもちろん保護者の方々や我々教師にとって大変心が痛むことあります。

現在はその渦中で感染予防策を十分に行いながら教育活動に取り組んでいます。学校での教育活動の中で最も大切な一つは「体験」であると考えますが、コロナ感染防止と体験学習をどのように両立させていくかは大きな課題です。授業の遅れをどう取り戻すか、中止になった学校行事に代わる行事は考えられないか、安全に部活動を行うためにはどのようにすべきかなど、農大二高として生徒の安全を最優先にしながら、教育内容の質の低下を防ぐための様々な工夫を行っているところです。

なお、同窓会の皆様からコロナ対策費としてご支援いただいた寄付金は、フェイスシールドや非接触型体温計、パーテーションなど感染防止対策として活用させていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

■ 感染対策

① 日常の学校生活

- ・検温・健康状況のチェックの徹底
- ・マスクの着用
- ・手洗い・手指消毒の徹底
- ・教室、机、ドアの消毒、階段の手すりやトイレなどの共有部分の消毒の徹底
- ・昼食時のクラス担任による教室内指導や巡回指導
- ・食堂のパーテーションの設置
- ・部活動時間の短縮や活動内容の制限
- ・全校集会・学年集会・説明会などはテレビ放送で実施



② 行事

- ・入学式や卒業式の時間短縮、参加者制限
- ・修学旅行の中止
- ・ほとんどの部活動の大会が中止

◆ 工夫

① 休校措置中の授業動画配信

県内でもいち早く動画配信を実施し、休校措置が始まると4月より速やかに配信を開始しました。配信した動画は約1200本。



体育祭の様子

② 入学試験はGメッセ群馬で実施

入学試験は、2000人近い中学生が受験するため、会場の密を避ける目的からGメッセ群馬で開催。

③ 体育祭の実施

体育祭は種目の工夫により密を避けた形で実施。



オンライン留学

④ オンラインによる文化部発表会を計画

文化祭が中止されたため、文化部の発表の場を確保するためにオンラインでの文化部発表会を3月に開催する予定。

⑤ 吹奏楽部のオンライン演奏

休校中にリモートによる演奏と動画配信を実施。群馬県のHPにも採用されました。



オンライン企業訪問

⑥ オンライン留学開始

グローバルコースの生徒のうち15名が1月よりオンラインによるオーストラリア留学を開始しました。農大二高の教室でクイーンズランド州立ミッチャルトン校の授業を受けています。

⑦ オンライン企業訪問

総合学習の一環として国連高等難民弁務官事務所（UNHCR）を訪問する予定でしたが、コロナ感染防止のためオンラインでの開催に変更しました。

教職員を応援しよう

寄稿1 今井 文哉 先生(43期生) 理科 バドミントン部・物理部顧問



高校生での経験を原動力に

農大二高に43期生として入学しました。私は高校3年間の大半を部活動のラグビーに費やし、全国大会への出場を目指し日々の活動と向き合ってきました。その過程は楽しいことやうれしいものもありましたが、大半が辛いことばかりだったように記憶しております。そのため、目標を達成したときの喜びは今でも鮮明に残っています。

現在、農大二高に奉職して10年が経とうとしています。この10年間で多くの生徒と出会うことができました。生徒それぞれの高校生活を後押しできるよう、自分自身も研鑽を積んで参りましたが、壁にぶつかることばかりでした。その都度、自分の原動力となったのは高校生での経験だったと思います。私はこの10年間で出会った生徒達から、高校生での経験がその後の人生の原動力となることを教えてもらったように思います。

農大二高は何かに対して頑張れる環境のある学校だと思います。OB・OGの方々や教員の諸先輩方が築き上げてきた農大二高をさらに深化させ、在学する生徒それが卒業後に社会で活躍できるよう、今後も教育活動に邁進していくたいと思います。

寄稿2 浅野 真希 先生(43期生) 数学科 書道部顧問



生徒と共に

高校生の私にとって、農大二高は行事やクラブ活動で盛り上がり、個性豊かな先生方が楽しそうに仕事をする、温かさと楽しさを感じることができる居心地の良い場所でした。その思い出の地で働くことができることは、とても幸せであると感じています。

今、学校教育は大学入試改革、グローバル、IT化と目まぐるしい変化を遂げています。農大二高も、新校舎設立、コース制の導入と動きを活発化させてきました。私の教員生活はその中にあり、常に考えることが必要とされています。毎年同じ考え方では通用しない、生徒にあった教え方を工夫していく、忙しさに負けそうになることもありますが、先生方のサポートと生徒からの激励で充実した日々を過ごすことができます。高校生は様々な個性と夢をもち、入学してきます。その生徒一人ひとりと向き合うことを忘れず、生徒にとっての温かい場所になるように、生徒と共にこれからも努力していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

寄稿3 北野 寛平 先生 保健体育 剣道部顧問



教わり育ち、教えて育てる

過度な教育競争の中で育つことで沢山の問題を抱えながら成長してしまいましたが、運動と剣道が身近にあったからこそ人生に常に目標を設定でき、生きることや努力することに価値を見出し、学ぶことの必要性を噛み締めてきた不器用な32歳です。

自分自身もそうですが、生徒が本当に育つ時は「気付き」が基になると思います。その気付きを与えるには、各生徒の養育環境に適した良質な指導が求められます。その良質な指導が難しい。教えさせてもらう立場を通して、自分の指導者としての長所や未熟な点を教えてもらいます。当たり前ですが、最近は未熟な点ばかり表出し苦しい事続きです。心を折らず、先輩指導者を範に育っていきたいと思います。

農大二高は歴史のある学校ですが、さらに変革しようとしています。私の立場からできることは限られますが、与えられた役職で良質な仕事を行い、歴史の一部に寄与できるよう精進させて頂きます。

寄稿4

陸上部の一年を振り返って



城戸口 直樹 先生 保健体育 陸上競技部顧問

昨年の3月よりコロナウイルス感染症でこれまでの日常が一変したなかでの陸上競技活動でした。3ヶ月半の活動自粛を余儀なくされても選手は競技力を低下させるどころか、逞しくなり自粛期間を乗りきってくれました。活動再開後は水を得た魚のごとく生き生きとしていたのが印象的でした。まさしく『ピンチをチャンスに変える』想いで1人ひとりが活動してきた結果であり、目標をもつことの大切さを改めて考えさせられるきっかけとなりました。

7月と9月に5000mで2度の日本高校記録を樹立した石田洸介、また10月には全国高校陸上選手権大会の3000m障害で分須尊紀が優勝し、成果が如実にあらわれたと感じています。

駅伝大会においては、全国高校駅伝まで経験を積む場であった県駅伝、関東駅伝がトラックレースとなる中で経験不足を補う工夫を凝らし全国大会に備えてきました。『こういう時こそいろんな発想を試す。コロナ禍でも前向きに』これらの取り組みが精神的に逞しく成長できるきっかけになったと感じます。目標の『全国優勝』には届かず11位ではあったが、入賞を狙える位置で近年レースができるおり手応えも感じるところです。入賞を14秒で逃した昨年の悔しさを1、2年生は見据え新チームをスタートしています。『8位入賞』を今年の目標に掲げまた都大路に戻ってきたいと思います。

陸上競技部を応援していただいた方々に改めて深く御礼申し上げます。

元教頭 市川 益也 先生

今般、広報誌への投稿の機会を頂き、有り難うございます。

今年で満83才となり、新型コロナのリスクに怯えながらの毎日です。「自粛」と「三密」には馴染めず、気分的にはかなり参っています。皆さんも同じでしょう。頑張りましょう。

さて、思い起こせば、昭和37年2月「農大二高」創立式典を数ヶ月後に控える某日、新卒の教師としてここに赴任。以来、平成5年3月までの32年間は、誠にめまぐるしく、変化に富んだ勤務でした。この年4月からは、「農大三高」に勤務を命ぜられ、埼玉通いを12年、合わせて45年間にわたる教師生活は、社会人として『新しい私学』の伝統づくりに、青春の情熱を尽くして突っ走った日々でした。

そして定年退職。すぐに地区の活動に誘われ、安中市の区長を13年間務めました。

「学校」とは全く畠違いの地域行政の諸場面では、戸惑いも多くありましたが、大勢の本校卒業生諸氏に声をかけて頂き、教えられること多く、大変お世話になりました。

昨年、馴染の医師から老化防止には、「手先と身体を動かすべし」と言われ、農二と農三の創立期からの「学校づくり」に、夢中で邁進した延べ45年間の裏話やこぼれ話を生きた証として書こうと思い立ち、「回想録」のペンを持ってみました、が、静かに確実に進行する「ボケ症状」に完成の見当もつきません。

他に、2日に一度のウォーキング(2時間歩きます)。そしてもう一つは、4年前に誘われて入会した「松井田城址保存会」で、上州の戦国時代を防衛させる巨大な山城、松井田城の遺構を守るべく、城址の草刈、整備、宣伝活動、月に一度の勉強会等を「3密」を避けつつ続けています。

農大二高も今年で創立60年を迎え、鶴辺の丘を巣立った仲間は、3万6千人を超えるでしょう。ここに教師として携われたことに、喜びと誇りを感じております。

卒業生の御多幸と、学校のより一層の発展を祈念するものです。



元教諭(英語) 神保 明子 先生 農大二高での日々は人生の宝

農二を退職して10年になります。卒業生の皆さんには、教わったことが多かったと感謝しております。在校生や卒業生の活躍を知るたびに、嬉しくて、自慢になります。自分が二高に関係していたことは、人生の宝です。

退職後は、孫たちの世話や、趣味の音楽鑑賞、美術鑑賞、書道、山歩きなどを楽しんでおります。また、地元富岡市で、世界遺産富岡製糸場の解説員をしています。今は、コロナ禍のため、お客様が少なく寂しいですが、富岡駅前に世界遺産センターもできましたし、富岡製糸場見学とともに、ぜひお出かけください。お待ちしております。



元教諭(国語) 清水 洋司 先生

記念の年だったか生徒と職員が、10年後に私はどうなっているのかという一文字をタイムカプセルボストに投函した。あまり真面目に考えず、多分庭いじりでもしているだろうと書いた。実際そうなっている。

カナメの生垣、塀に合わせたコツコウバラ、高木になったコウヤマキ、イトヒバ、ドウダンツツジ、花の咲くものとして花桃、サルスベリ、アジサイ。他にイチジクなどがある。このイチジクがなることにより野鳥が数種やってくる。それにカミキリムシも発生し、退治に苦労する。散った花びらや落葉の始末もなかなか厄介である。

公職を終えてからは地元の神社の手伝いくらいをしている。今は新型コロナの為にステイホームで引きこもりをしている。そのせいで足が弱くなってしまった。

毎日、新聞2紙に目を通し、三匹の猫と時間を過ごし、同僚だった人の俳句や短歌を鑑賞し、外出といえば今まで関わった方々の葬儀参加や通院だけである。

少子高齢化のせいか子どもの声もなく、うるさいのは鳥の声。寂しいばかり。健康に気をつけて長生きをしよう。



元教諭(化学) 岡 則儀 先生

農大二高同窓生の皆様こんにちは！ 化学の岡です。

私は昭和42年(1967年)4月に第6期生入学の時に農大二高に奉職し、平成22年(2010年)3月に43年の教員生活を全うし定年退職をしました。早いもので退職して今年の3月で、11年になります。

退職後、体力維持と健康の為と思い太極拳教室に通いました。やっている内に太極拳の奥の深さが解り結果を出せるまでになりましたが、膝を痛めてしまい5年間で止めることになりました。その後は近所のスポーツジム通いをしたり、3年前から詩吟教室に通い声を張り上げています。

在職時代は応援団の顧問を長年していた関係もあり、農大二高生及び卒業生の活躍を何時も応援しています。

昨年7月に北海道で行われたホクレン陸上大会で本校三年生の石田くんが5000mで日本高校新記録を樹立し、8月に国立競技場で行われた陸上ゴールデングランプリの男子100mで本校2年生の柳田くんが、日本トップスプリンター桐生、小池、ケンブリッジ等がいる決勝まで駒を進め堂々の5位入賞を果たしました。……ということは全国陸上界の短距離と長距離の両エースが農大二高生にいることになります。昨年の12月に行われた全国高校駅伝大会では入賞を逃がしましたが、堂々の11位でした。他にラグビー部や吹奏楽部、百人一首の全国大会準々決勝進出などの活躍も聞いております。

卒業生では、プロ野球でソフトバンクの周東くんが、世界の盗星王と呼ばれた福本豊の11試合連続記録を抜き、13試合連続盗星達成の世界プロ野球新記録を成し遂げました。又箱根駅伝大会では何名もの卒業生が活躍している姿も見ることができました。

今年でも私も喜寿を迎える年となります。農大二高生及び同窓生の増々の活躍と発展を願っております。頑張れ 農大二高！



元教諭(数学) 勝田 礼子 先生

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルスの感染症拡大防止で大変な世の中ですが、皆さんのがお元気に過ごしていらっしゃると良いなと思っています。

私は退職して5年になりました。退職後は玉村町で美化ボランティアをしたり、子どもの無料学習塾の支援をしています。趣味の書道は、原口八重子先生や神保明子先生と一緒に続けています。我が家のかわいいサクラちゃんを覚えていらっしゃる方もいるでしょうか。農大二高に迷いこんできたワン子ですが、長生きをして、退職してから2年後に18歳4ヶ月の天命を全うしました。今頃はお釧巡様の足元で元気に走りまわっていることでしょう。

農大二高でたくさんの人々との出会いがあり、本当に感謝しています。



元教諭(国語) 山岡 良子 先生

コロナ禍や新アメリカ大統領就任で、世界中が混乱状態ですが、日本の國も個人もこの難局を生き抜く力を蓄えたいものです。

私は、東京農業大学第二高等学校開設以来39年勤務しました。退職後、以前から関係していた高崎哲学堂設立の会理事長井上房一郎邸が公売となり、原一雄、松浦幸雄前高崎市長のご尽力で、落札・保存され、現在高崎市美術館中庭から見学出来ます。建築界の評価は非常に高いのですが、群馬の文化に関係する人の中で、「井上」を話題にする人は誰一人いないと言われる程、忘れて去られてしまい、井上再評価に努めました。本年1月、「ブルーノ・タウトの世界」展が、高崎で開催され、また、『核兵器禁止条約が発効』となり、世界が、時代が評価する機運となって来ており、期待できます。みなさんも是非「高崎哲学堂」へ出掛けみてください。



同窓生を訪ねて

さまざまな場所・分野で活躍する



宮原 淳二さん (20期生)

株式会社東レ経営研究所
ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部長

私は1983年に農大二高を卒業し、1浪した後に、早稲田大学社会科学部に入学しました。1988年に卒業し、化粧品最大手の資生堂に就職しました。入社後、都内で百貨店営業を4年経験し、次に本社で商品開発を10年担当しました。その後、労働組合専従、人事部など様々な部署を経験しました。2011年に縁あって現在の東レ経営研究所に転職しました。多様な人材の活躍を支援するダイバーシティマネジメントをテーマに民間企業へのコンサルティング、官公庁の委託調査、そして講演活動など、人事労務領域で幅広く活動しています。数年前、3年時のクラスメイトであった持田教諭から在校生とその両親向けに講演を依頼され、「社会で活躍できる人材」や「ワークライフバランス(仕事と生活の両立)」についてお話をすることがあります。農大二高のOBとして、今回仕事紹介を依頼されることをとても光栄に思いますし、OB会の発展を心より祈念しております。



真下 伸代さん (25期生)

桐生第一高等学校勤務

中学3年の夏、甲子園のスタンドで、学校一丸となって大根踊りをしている姿をTVで見て、心が震え、私の志望校は「農二」に決まった。そして、建学の精神である「人物を畑に還す」という教えがあったからこそ、今の自分がある。どんな些細なことでも認めてくれた中学時代の担任に憧れ、私もそんな教員になりたいと、東京農業大学に進学し教師を目指した。

現在、私立教員として勤務し、28年間が終わろうとしている。この間、志してきたことは、「生徒を認める・寄り添った指導」これを何より大切にしている。生徒との信頼関係が構築されることで、私たちの伝えたいことが素直に浸透していく。子どもたちのお姉さんの存在から、母親的存在となっできている今、『私学協会の優秀教員表彰』を頂いた。生徒と関わることが何よりも好きな私が、思ってもみない形で表彰されたことで、今までの苦勞が報われたのと同時に、大きな励みとなる。また、ここまで私を支えて下さった先生方をはじめ、生徒、家族にも感謝を伝えたい。



清水 大助さん (30期生)

しみづ農園取締役

私は30期卒業生です。高校在学中は陸上競技部に所属し、短距離種目で日々、汗を流しておりました。勉学も…汗。高校時代で得たことは今でも付き合いのある一生の友人が作れた事や人間形成の場としてもとても有意義な時間を過ごさせていただけたことだと考えております。

現在は家業である造園会社の株式会社「しみづ農園」においてまだ未熟なりにも切磋琢磨する毎日です。弊社は造園外構工事・緑化工事・緑地やお庭のメンテナンス・イルミネーション装飾など、景観づくりや環境に係わる様々な場面でのお手伝いをしている会社です。官公庁から企業や個人まで幅広いお客様に対して、ワンストップで業務を行っています。

個人の活動では、キングオブパスタという高崎の食文化を発信して高崎の活性化の一助とするイベントの運営を行っています。今後も社業発展の為に尽力するとともに、農大二高現役生の模範となれるよう、引き続き活動していきたいと思います。



新井 健介さん (34期生)

Kensuke

演出家 振付師 ダンサー

34期生の新井健介です。農大二高卒業後、単身でNYへ渡米。ダンススタジオに通いながらダンスパトルなどで成績を残し、帰国。

その後、地元高崎でインストラクターをしながら東京でダンサーのキャリアを重ねていき、現在は演出家、振付師としても活動しています。

ダンサーとしては、SKY-HIのダンサー[BLUEFLAPQUARTET]として活動。

振付師としては、ゆず、SEKAIN OOWARIなどを担当、三浦春馬[NightDiver]を担当。演出家としては、Official髭男dism、ソフトバンクホース開幕戦、などのLIVEやイベントなどを手掛けています。

私は、決して優秀な卒業生ではなく、好きなことしかやってこなかつたような人間でした。そんな私が、こうやってここに載せていただくのも、高校生の時習い始めたダンスと、これをやつていこうと決めた決意の強さだったのかな。と思います。

肩書きが多い私ですが、これからも広い視点で様々な事に挑戦していきたいと思っています。



高橋 辰三さん (38期生)

弁護士 アジアンタム法律事務所

私は農大二高を卒業後、大学にて法律を学び、2010年から池尻大橋という場所で法律事務所を開所しました。中小企業や個人の案件を扱うマチ弁と呼ばれる弁護士です。

顧客も持たない状態で開業したので、人脈を広げるべく、それまで飲まなかったお酒を飲むようになり、スナックで昭和歌謡を歌ったり、飲み歩いたりしながら20代を過ごしました。また、地域活性化会議に参加するようになり、首都高速大橋ジャンクション屋上の公園(目黒天空庭園)でワイン用葡萄の栽培をする団体の代表も務めています。毎年、その葡萄で農大のOBが経営する山梨のワイナリーとコラボをしてワインを作り、ワインの完成する11月に目黒天空庭園収穫祭を開催しています。地域密着の弁護士として過ごしてきたので、いつの間にか地域の事情通となり、不動産屋や飲食店の人からも「高橋さん、あの店はどういう店なんですか」と聞かれるほどです。

同窓会より——委員会活動紹介

組織期別・支部活性化委員会

委員長：上原 政弘(25期生)

各期の立ち上げや運営をお手伝いしたり、それぞれの期を越えた同窓生との交流を持つために、3ヶ月に1度のペースで同窓生が自由に参加できる懇親会などを企画したりしています。さらに部活動の各OB会等の横の繋がりを作るための企画も行っています。ご協力をいただける方は、懇親会にご参加ください。

文化・スポーツ推進委員会

委員長：植松 元(22期生)

文化・スポーツイベントを通じ同窓生の結束を固めること及び在校生を含めた学校関係者への支援や活動を目的としています。育英奨学基金チャリティゴルフコンペの開催、文化祭への協力・参加等をしています。育英奨学基金は、在校生への奨学金として活用させていただいております。参加希望者はHPからのお申込みができるので気軽にご参加ください。

広報委員会：インターネット部会

部会長：三村 治(18期生)

ウェブサイトの管理・運営を担当しています。だいこんプレスと連動した記事掲載やタイムリーな情報発信を心がけています。掲示板ではリアルタイムに同窓生からの情報や同期会等の開催・案内、住所変更などに活用してください。

その他

高崎市役所二高会(高崎市役所職員の会)、緑奏会(吹奏楽部を支援する会)、緑走会(陸上部卒業生の集まり)、その他

首都圏支部 副支部長：青木 裕司(2期生)

東京、神奈川、千葉、埼玉の熊谷周辺までをエリアとし、現在2000名以上の人人が登録されています。支部活動の大きな核の一つである総会・懇親会が3年に1度開催され、新たなつながりが生まれます。

関西支部総会 支部長：坂口 富美江(26期生)

群馬から関西に来られている人が少ないので「関西支部は活発に活動しています」という訳にはいきませんが、母校部活動の全国大会等が関西地区で開催されることも多く、その際には皆さんと交流を深めたいと思います。

本支部事務局長の太田裕之さんが、京都陸上競技協会に所属しているので、暮れに行われる全国高校駅伝大会の審判を毎年しています。母校の後輩の皆さんが毎年好成績を残してくれていますが、関西支部も色々な面で母校を応援しています。都大路で優勝できる日を楽しみにしています。3年に1度、総会・懇親会を開催しています。

親睦委員会

委員長：小林 淳(25期生)

同窓会、学校、教職員、保護者会等、母校に関わる全ての人々の親睦を図るために、様々なイベントを企画しています。同窓生の部活OB会や期別理事相互の懇親会などを企画しています。

広報委員会：だいこんプレス部会

部会長：落合 哲郎(46期生)

毎年3月に発行している広報誌(だいこんプレス)の編集を行っています。皆様からの情報によって支えられています。是非、全国各地で活躍する同窓生の情報などを寄せ下さい。編集作業に興味を持っている方は是非連絡をください。

緑政会

会長：高橋 美奈雄(12期生)

同窓生の地方議員の会です。議員の親睦を図り、情報交換を円滑に行うことで、より充実した議員活動を展開し、母校発展にも寄与していくことを目的としています。国会議員2名、県会議員2名、地方議員14名で構成しています。

緑揚会

会長 竹内 一普(24期生)

農大二高OBOG経営者で組織される「緑揚会」は平成28年9月に設立以来、今秋6期目を迎えます。会員企業も180社を超え、多くの企業・商店の経営者またはその幹部の皆さまにより構成されています。この間、経営支援事業(講演会、勉強会)、母校貢献事業(学校事業「NIA」などへの協力、自転車ステッカー寄付や全国大会出場部活動への継続的な支援)、会員交流事業(ビジネスマッチング)を実施してまいりました。中でも「りょくよう基金、グローバル奨学金」は学校側とも協議を重ね、留学を目指す生徒たちに有効な奨学金として昨年度よりスタートいたしました(本年度2名実施)。これらの事業財源はすべて会員企業の年会費で運営されています。今期はコロナ禍の影響によりリモートによる生配信映像の総会(9月)に始まり、交流事業のほとんどが中止または延期を余儀なくされました。本年6月には昨年できなかった事業の開催を目指して準備を進めています。関係者の皆さま方には引き続き本会へのご理解をお願い申し上げます。農大二高OBOG経営者の皆さま方、または起業を目指す後輩諸君!コロナ収束の際には是非本会で「蜜」な交流を図りませんか?連携を図るのは今です。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

次回事業(予定)は以下の通りです。「2021夏季講演会」日時:2021年6月16日(水)会場:ホテルメトロポリタン高崎
講師:日本クレーム対応協会 代表理事 谷厚志氏~怒りを笑顔に変えるクレームコンサルタント~



『農大二高同窓会』では、同一年度卒業生による同期会の開催を奨励しています。

農大二高は昭和37年に創立して以来、今年で60年を迎えます。会が把握する範囲では、同期会を立ち上げ、数年に一度集まりを行っている期は半数ほどあります。

同期会を開かない理由は様々でしょうが、意外に多いのが『同期会を開きたいが何から手を付けたら良いか分からぬ』というもの。『同期生の連絡先が分からぬ』『どんな準備が必要?』『参加者を増やすには?』『会を盛り上げるには?』…。同窓会本部に連絡を頂ければ同期会の開催の仕方を説明しますが、一般的な疑問のQ&Aを作りましたので、参考にしてください。

卒業してから同期会を開いていない皆さん、この機会に同期会を開いてみませんか?

Q1 最初に何をすれば

A 賛同者(発起人)を集めます。できれば在学中のクラスごとに1~2人ずつ。その後の作業がはかどります。

Q5 当日、必要なことは

A 参加者が胸につける名札を用意します。名札は同窓会本部にあります。久しぶりの同期会は懇談に多くの時間が割かれます。料理は参加者の90%程度とし、イベントも少なめに。卒業アルバムを紛失された方もいるので、在校時の写真をプロジェクトなどで披露すると喜ばれます。

*開催した同期会の様子を同窓会広報誌及び同窓会HPに掲載いたします。

同期会のレポート(150字程度)と集合写真(データ)をお願い致します。

同窓会事務局:農大二高内

027-323-1483

<https://nounidousoukai.gr.jp>

ホームページアドレス <https://nounidousoukai.gr.jp/>



同窓会ホームページ



Q2 同期生への連絡は

A 同窓会本部が用意する住所録を基に、発起人の情報などと合わせて連絡名簿を作ります。

Q6 記念撮影は

A 撮影員を用意して懇談中のスナップ、クラスごと、参加者全員の記念写真を。同窓会のHPなどで参加出来なかつた人も写真が閲覧できるようにしたらよいでしょう。(個人情報の関係で『同窓会広報誌及びHPに集合写真を記載しますのでご承知置きください』と皆さんに一言お伝えください)。

Q3 準備は

A 発起人を中心いて、できれば半年前に幹事会を開足させ、月に一回は集まつて企画や準備を進めます。

Q7 同窓会からの補助は

A 同窓会では同期会を設立する時に限り、連絡先のデーターやハガキ代、住所録シール等提供いたします。具体的なスケジュールや案内状の出し方のほか、開催場所やハガキ印刷会社なども紹介できます。ご不明な点は期別活性化委員長まで連絡をください。

Q4 案内状は

A 遅くとも2カ月前には往復はがきで連絡を。不参加の人には近況を書いてもらいましょう。発起人はできるだけ多く記載しましょう。友人や出席される恩師の名前を書くことで、参加者を増やす効果があります。案内状送付に合わせて同窓会HPに開催告知をして、連絡先不明の同期生にも情報が伝わるようにするとよいでしょう。

【期別活性化委員長】

上原 政弘(25期生)
TEL 027-364-3338
光保険サービス(株)

平成31年度 決算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

一般会計

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	5,940,000	総会費	1,467,629
年会費	2,240,655	会議費	247,910
預金利息収入	38	事業費	3,881,822
雑収入	633,000	事務費	9,714
特別会計より繰入	0	印刷費	8,788
総会費	931,000	広報費	56,100
前年度繰越金	436,347	慶弔費	57,930
		雑費	0
		予備費	330,000
		全国大会出場激励費	180,000
		特別会計へ繰出	1,500,000
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	1,000,000
		次年度繰越金	441,147
合計	10,181,040	合計	10,181,040

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
育英奨学基金特別会計より繰入	0	次年度繰越金	4,071,660
預金利息収入	345		
前年度繰越金	4,071,315		
合計	5,071,660	合計	5,071,660

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	奨学金	0
寄付金収入	256,000	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	82	次年度繰越金	11,129,498
前年度繰越金	9,873,416		
合計	11,129,498	合計	11,129,498

令和2年度 予算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

一般会計

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	5,270,000	総会費	0
年会費	2,500,000	会議費	250,000
預金利息収入	40	事業費	3,980,000
雑収入	350,000	事務費	10,000
特別会計より繰入	0	印刷費	45,000
総会費	0	広報費	75,000
前年度繰越金	441,147	慶弔費	75,000
		雑費	0
		予備費	600,000
		全国大会出場激励費	240,000
		特別会計へ繰出	1,000,000
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	1,000,000
		次年度繰越金	286,187
合計	8,561,187	合計	8,561,187

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
預金利息収入	350	事務費	660
前年度繰越金	4,071,660	次年度繰越金	4,071,350
合計	5,072,010	合計	5,072,010

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	奨学金	0
寄付金収入	210,000	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	80	次年度繰越金	0
前年度繰越金	11,129,498		12,339,578
合計	12,339,578	合計	12,339,578

事務局だより

今年度はコロナ禍で行事が行われなかったため、予算の一部をあてて同窓生の方全員に同窓会新聞[ダイコンプレス]を配布します。例年は、卒業後5年間は無条件で配布、それ以外は会費を納入されている方のみに配布しています。会費のお振込みをよろしくお願ひいたします。

住所変更を忘れずに

住所変更をした場合、同封の会費振込用紙に新住所を明記してください。振込用紙が無い方は、ホームページやメールでも住所変更を受け付けています。

ホームページの活用を

同窓会ホームページにおいて、随時、期別同窓会情報や部活動にOB会情報などを発信していきたいと思います。情報をお持ちの方は、ぜひホームページの「問い合わせ」よりお寄せください。



同窓会ホームページ
<https://nounidousoukai.gr.jp/>

同窓会ホームページ

会費納入のお願い

同窓会の運営にご協力ください。

① ゆうちょ銀行

同封の払込用紙でゆうちょ銀行窓口よりお振り込みください。

② 銀行

下記口座へお振込みください。尚、手数料が必要となります。

金融機関 支店名:群馬銀行 高崎支店

科目 口座番号:普通 1493175

口座名義:ノウダイニコウドウソウカイ

会費:一口 2,000円

コロナ、緊急事態宣言、ステイホーム。2020年度がこのような年になると、いったい誰が想像できただろうか。ダイコンプレスは今回で29号を迎えたが、やはり例年通りとはいからず、対面での取材を避け、できる限り会議を減らす中、特別号として発行することにした。厳しい日々の中、

母校と同窓生の活躍は光った。周東君、陸上部、吹奏楽部、東大合格など、明るい話題で私たちは励まされた。最後に、本誌発行にあたり、ご協力頂いた全ての方に感謝申し上げつつ、コロナの早期収束と、皆さんのがらなるご活躍を祈念したい。(46期 落合)